



「もみじ」著者は、刊記には見当たらないが「翻蜀錦」と題した漢文の序と、岩佐古香が書いている。編集は名古屋いとう呉服店意匠部、明治44年(1911)京都芸神堂、折帖一冊(三十面)

著者岩佐古香は、名古屋生まれ、京都に出て竹内栖鳳らに学ぶ。いとう呉服店は、現松坂屋百貨店、 亮軒記

稲葉したれ	あまのつる
十寸鏡	名月
匠人唐楓	大志
遠近人	

(もみじの品種名)

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 馨 発行所/名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東横2-19-13 tel. 052-801-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

2011

名古屋園芸

名古屋園芸の冬ギフト



② フレグランスローズブーケ ¥4,500+税



③ フレグランスローズ&フラワーベース 1本 ¥400+税 & 1個 ¥900+税

## 香りのパースデーフラワー

～フレグランスローズ～



④ フレグランスローズアレンジメント ¥5,000+税

目ごと秋を感じる季節になりました。そんな今月ご紹介いたします香りのパースデーフラワーは「薔薇(バラ)」です。

「薔薇(バラ)」はバラ科バラ属の植物の総称で、主として北半球に分布しています。香りのある美花をつけるものが多いことで古くから観賞用として栽培されてきました。世界中の多くの人々から愛されているバラは何度も品種改良され、色や咲き方、そして「香り」も多種多様になりました。

バラの香りは、ワイルドローズから交配・交雑されたことにより様々な種類が誕生しました。もともとヨーロッパに自生していた原種バラを交配してつくりだされたオールド・ローズには、ダマスクの甘い香りをもつ品種がほとんどでしたが、ヨーロッパのバラに中国のバラを交配したことで誕生したモ

ダンローズ以降、様々な香りを持つようになりました。

強い甘さのある華やかな香りの「ダマスククラシック」、コクと深みのある甘さが特徴の「ダマスクモダン」、ソフトで上品な紅茶の葉に似た香りの「ティー」、果実の香りを思わせる爽やかな甘さの「フルーティ」、ダマスクモダンとティーの香りをミックスしたようなシャープな香りの「ブルー」、スパイスの八角(アニス)に似た甘さとはるる苦さを持つ「ミルラ」、やや刺激的な中に甘さを感じられる「スパイシー」など、香りを意識しながらのバラ選びも楽しいことでしょう。

秋はバラの品質が向上し、目持ちも良くなります。11月は香りのあるバラ「フレグランスローズ」がおすすです。

### information

喪中はがきが届いたら...



早い方では年賀状の準備を始められるこの時期、喪中はがきが届いたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。新型コロナウイルスの影響により例年のような葬儀の実現が叶わなかった今年は、その知らせで初めて葬儀に接するという方も多かったはず。今頃になって何を...と悩まれるかもしれませんが、「せめてもの気持ち」を花に託してお届けしませんか?

名古屋園芸自製の品質を誇るコチョウランは花持ちが非常に良く、御供としても重宝されています。様々なサイズを取り揃えており、中でもモダンな鉢に飾った卓上サイズのコチョウランはマンションの1室などで飾っていただくやすく好評です。

厳しい冬の始まりに...大切な花贈りにはぜひ、想いが伝わる名古屋園芸品質にお任せくださいませ。



図右 サフランを因入で紹介された最初の書である



図左 ニクソクの果枝図

## 六物新志 上

花の博物館 第298回

六物新志 りくぶつしんし

上下二巻  
大橋玄壽著  
天明六年丙午十一月(後跋)

小笠原左衛門尉亮軒

六物とは、一角(ウニコル)、泪夫藍(サフラン)、肉豆蔻(ニクスク)、木乃伊(ミイラ)、燈籠里番(エブリコ)、人魚(ニギョ)、の六種類。

著者大橋玄壽は宝暦7年(1757)13歳の時、藩医奥州一関医官である建部清庵について医学を学び、22歳に杉田玄白の門人になってオランダ医学を学び前野良沢についてオランダ語を修め、長崎へ出てさらに学識を深めた。江戸中期の蘭学の第一人者グループの一員である。のち、文化年間(1804)幕府天文方に出仕、蘭書和解を命ぜられた。この時百科事典「シヨメル」の翻訳等にあたったことにより本書が成立した。

本書には本書の他「蘭学附録」「重訂解体新書」「蘭学雑考」など多数、全文漢文、蘭語は漢音であらわしている。

## リングバスケットのススメ



Information

【講座番号31】 クリスマスリースをつくる

11/16 (月) B・11:30~12:30

講習費1,000円(+税) 材料費4,000円(+税)

若干名空きがございます。お早めのお申込みをおすすめします。

11月に入り本格的な冬のガーデニングシーズンに入ります。パンジー・ビオラ、ガーデンシクラメン、11月後半にはプリムラ類、ハポタンなど苗売りの置き場がないくらい植物であふれかえります。週ごとに花の入れ替わりも早くなっていきます。ご来店頂くごとに違ったお花が見れる1年を通じて1番見ごたえのある月が11月ととってもいいでしょう。

そしてここ最近大人気なのがリングバスケットの寄せ植えです。リング状の器に季節の花で植え込んでいきます。リース型なのでクリスマスのイメージが強いかもしれませんがお正月バージョンなどどんなバージョンでもつくれます。

これからの季節は温度が徐々に下がり始めます。秋から冬にかけては植物も成長がゆっくりになるので植物が乱れません。その為リングバスケットの寄せ植えもリングの形をたもちながらとって長くたのしめます。ビオラやガーデンシクラメン、ハポタン、ジュリアンなど入れる花材に迷うほどこの季節はリングバスケットとの相性がよいお花が勢ぞろいします。苗売りの場でもリングバスケットの寄せ植えをたくさんたくさん作りますのでみにきてくださいね。

紹介したリングバスケットのクリスマスバージョン、迎春バージョンの講座も開催します。初めての方でもつくりかた、育て方を1から説明しながら製作していく講座です。1回コツをつかめば難しいことはまったくありません。オリジナルのステキなリングバスケットが作れるようになりますよ。